



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 (株)神鋼環境ソリューション  
 コード番号 6299 URL <http://www.kobelco-eco.co.jp>  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)粕谷 強  
 問合せ先責任者(役職名)総務部長 (氏名)芳野 真弘  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 078-232-8018

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	38,502	13.3	178		134		426	
2019年3月期第2四半期	33,995	15.9	416		318		321	

(注)包括利益 2020年3月期第2四半期 430百万円 ( %) 2019年3月期第2四半期 236百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.47	
2019年3月期第2四半期	19.94	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	66,757	27,242	40.6
2019年3月期	85,836	27,543	31.9

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 27,087百万円 2019年3月期 27,390百万円

(注)2020年3月期第1四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		45.00	45.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.9	3,600	2.7	3,600	3.8	3,000	22.8	186.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、対前期増減率は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映させた数値と比較して記載しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	16,120,000 株	2019年3月期	16,120,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,148 株	2019年3月期	4,148 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	16,115,852 株	2019年3月期2Q	16,115,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は添付資料3ページをご覧ください。また、今後、業績に重大な影響を及ぼす事象が確認された場合は速やかに開示いたします。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(企業結合等関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、企業収益は高い水準で底堅く推移し、設備投資が緩やかに増加するとともに、雇用情勢の改善や個人消費が持ち直しの動きを見せるなど、回復基調が続きました。一方、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等、海外経済の動向や金融資本市場の変動影響に加え、自然災害によるわが国経済に与える影響に留意する必要があり、不透明感が残る状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、本年1月の廃棄物処理関連事業における事業統合や、2020年度を最終年度とする5ヵ年中期経営計画の折り返しであるこの機会に、当社グループがこれからも時代を超えて繁栄し続けるための共通の考え方・価値観として企業理念を制定しました。この企業理念のもと、中期経営計画において掲げた基本方針である「①主力事業のリノベーション」、「②海外展開・新規事業での着実なビジネスの拡大」、「③神戸製鋼グループとの連携強化」に沿い、目標の達成に向け、諸施策を着実に実施しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は、廃棄物処理関連事業における複数の基幹改良案件の受注、並びに、事業統合により増加した既納施設の運転・維持管理業務の受注に加え、化学・食品機械関連事業における海外案件の受注増などにより、前年同期に比べ20,849百万円増(46.3%増)の65,895百万円となり、受注残高は前年同期に比べ28,298百万円増(38.1%増)の102,620百万円となりました。

売上高は前年同期に比べ4,506百万円増(13.3%増)の38,502百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期に比べ594百万円改善し178百万円、経常利益は前年同期に比べ453百万円改善し134百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上があり、前年同期に比べ747百万円改善し426百万円となりました。

なお、当社グループの事業形態による特徴として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が大きく、売上高の計上が偏る傾向にありますが、概ね計画通りに推移しております。

報告セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

## (水処理関連事業)

水処理関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ1,012百万円増の12,906百万円となりました。経常損益は、増収となったものの一部案件のコストアップ等もあり、前年同期に比べ47百万円の改善にとどまり、1,192百万円の損失となりました。

## (廃棄物処理関連事業)

廃棄物処理関連事業につきましては、売上高は、事業統合等の効果により前年同期に比べ4,344百万円増の21,316百万円となりました。経常利益は増収に加え一部子会社における増益等もあり、前年同期に比べ723百万円増の953百万円となりました。

## (化学・食品機械関連事業)

化学・食品機械関連事業につきましては、売上高は、前年同期に比べ831百万円減の4,276百万円となりました。経常利益は、減収の影響等により、前年同期に比べ248百万円減の549百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は66,757百万円となり、前連結会計年度末に比べ19,079百万円減少しました。流動資産は44,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,136百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少24,308百万円、短期貸付金の増加2,419百万円によるものです。固定資産は22,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ942百万円減少しました。

負債合計は39,515百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,777百万円減少しました。流動負債は29,402百万円となり、前連結会計年度末に比べ18,747百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少7,448百万円、買掛金の減少4,019百万円、電子記録債務の減少3,589百万円によるものです。固定負債は10,112百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少しました。

純資産合計は27,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円減少しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益426百万円の計上による増加、配当金725百万円の支払いによる減少によるものです。この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、40.6%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月8日に公表しました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の業績予想を下記のとおり修正します。

(2020年3月期の連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 100,000	百万円 3,600	百万円 3,600	百万円 2,500	円 銭 155.13
今回修正予想(B)	100,000	3,600	3,600	3,000	186.15
増減額(B-A)	0	0	0	500	—
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	20.0	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	90,199	3,701	3,744	2,442	151.55

(前回発表予想からの修正理由)

当社において、有効期間中でありました契約に対して、契約相手先事由による解約の申入れがあり、当該契約の解約条項に従い受領した解約金から当該解約に伴う費用を控除した金額を特別利益(契約解約益)に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。

実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,015	5,665
受取手形及び売掛金	47,322	23,013
電子記録債権	1,548	1,252
商品及び製品	52	45
仕掛品	1,993	4,233
原材料及び貯蔵品	895	913
短期貸付金	3,198	5,617
その他	2,387	3,504
貸倒引当金	△93	△61
流動資産合計	62,321	44,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,505	16,454
減価償却累計額	△11,314	△9,793
建物及び構築物(純額)	7,191	6,661
機械装置及び運搬具	13,194	13,216
減価償却累計額	△9,519	△9,738
機械装置及び運搬具(純額)	3,674	3,478
土地	3,590	3,542
建設仮勘定	35	74
その他	1,795	1,815
減価償却累計額	△1,346	△1,370
その他(純額)	448	444
有形固定資産合計	14,941	14,201
無形固定資産		
投資その他の資産	1,181	1,053
投資有価証券	934	628
繰延税金資産	4,156	4,227
退職給付に係る資産	1,266	1,283
その他	1,164	1,308
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	7,392	7,317
固定資産合計	23,515	22,572
資産合計	85,836	66,757

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,418	8,398
電子記録債務	11,140	7,551
短期借入金	7,971	523
未払法人税等	897	446
未払費用	3,183	2,480
前受金	3,990	4,628
製品保証引当金	2,804	2,307
工事損失引当金	1,151	1,308
その他	4,591	1,756
流動負債合計	48,149	29,402
固定負債		
長期借入金	2,915	2,714
リース債務	130	89
退職給付に係る負債	6,522	6,741
資産除去債務	499	501
その他	73	65
固定負債合計	10,142	10,112
負債合計	58,292	39,515
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,020	6,020
資本剰余金	3,332	3,332
利益剰余金	18,193	17,887
自己株式	△6	△6
株主資本合計	27,539	27,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	140
繰延ヘッジ損益	12	△0
為替換算調整勘定	48	36
退職給付に係る調整累計額	△382	△323
その他の包括利益累計額合計	△149	△146
非支配株主持分	153	154
純資産合計	27,543	27,242
負債純資産合計	85,836	66,757

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	33,995	38,502
売上原価	29,554	32,901
売上総利益	4,441	5,600
販売費及び一般管理費	4,857	5,422
営業利益又は営業損失(△)	△416	178
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	19	14
投資有価証券売却益	24	1
貸倒引当金戻入額	19	31
分析料収入	3	2
固定資産売却益	21	-
その他	31	14
営業外収益合計	129	71
営業外費用		
支払利息	19	22
固定資産除却損	5	3
為替差損	-	78
その他	6	10
営業外費用合計	32	115
経常利益又は経常損失(△)	△318	134
特別利益		
契約解約益	-	649
特別利益合計	-	649
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△318	784
法人税、住民税及び事業税	190	437
法人税等調整額	△228	△81
法人税等合計	△37	355
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△281	428
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△321	426

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△281	428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	△31
繰延ヘッジ損益	8	△12
為替換算調整勘定	19	△12
退職給付に係る調整額	44	59
その他の包括利益合計	44	2
四半期包括利益	△236	430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△276	429
非支配株主に係る四半期包括利益	40	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△318	784
減価償却費	761	859
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△89	△496
工事損失引当金の増減額(△は減少)	25	156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△31
退職給付に係る資産負債の増減額	243	258
受取利息及び受取配当金	△29	△21
支払利息	19	22
固定資産売却損益(△は益)	△21	2
固定資産除却損	5	3
投資有価証券売却損益(△は益)	△24	△1
契約解約益	-	△649
売上債権の増減額(△は増加)	12,360	25,239
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,601	△2,254
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,639	△7,661
未払又は未収消費税等の増減額	△790	△2,565
未払費用の増減額(△は減少)	△431	△702
仮払金の増減額(△は増加)	△123	△403
未収入金の増減額(△は増加)	△184	△196
その他	△263	△648
小計	5,878	11,693
解約金の受取額	-	1,931
リース契約解約金の支払額	-	△999
利息及び配当金の受取額	29	21
利息の支払額	△19	△23
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,641	△884
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,247	11,740
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△453	△502
有形固定資産の売却による収入	131	4
無形固定資産の取得による支出	△16	△37
投資有価証券の売却による収入	81	6
短期貸付金の増減額(△は増加)	△2,300	△2,419
差入保証金の差入による支出	△341	-
投資有価証券の取得による支出	△126	△38
その他	△0	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,026	△2,962
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△236	△7,429
長期借入金の返済による支出	△167	△217
配当金の支払額	△724	△724
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△171	△42
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,302	△8,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69	358
現金及び現金同等物の期首残高	2,562	5,015
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	290
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,493	5,665

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,888	16,972	5,107	33,968	26	33,995
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	—	—	5	△5	—
計	11,894	16,972	5,107	33,974	21	33,995
セグメント損益	△1,239	230	797	△212	△106	△318

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額26百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。  
 2. セグメント損益の調整額△106百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外収益等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	水処理 関連事業	廃棄物処理 関連事業	化学・ 食品機械 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,902	21,316	4,255	38,474	27	38,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	20	25	△25	—
計	12,906	21,316	4,276	38,499	2	38,502
セグメント損益	△1,192	953	549	310	△176	134

- (注) 1. 外部顧客への売上高の調整額27百万円は、報告セグメントに帰属しない売上高であります。  
 2. セグメント損益の調整額△176百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用及び営業外費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。  
 3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2019年1月1日付での株式会社IHI環境エンジニアリングの廃棄物処理施設関連事業等の承継に伴う企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、顧客関連の無形資産に659百万円が配分され、繰延税金負債が201百万円増加した結果、取得日におけるのれんの金額は457百万円減少しております。

なお、この暫定的な会計処理の確定による損益に与える影響は軽微のため、記載を省略しております。

[決算発表 補足資料]

1. 連結経営成績

(単位：億円)

	2018年度 第2四半期累計①	2019年度 第2四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
売上高	339	385	+45	+13.3%
営業利益	△4.1	1.7	+5.9	-
経常利益	△3.1	1.3	+4.5	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△3.2	4.2	+7.4	-
1株当たり 四半期純利益 (単位：円 銭)	△ 19.94	26.47	+46.4	-

2. 連結受注状況

1) 受注高

(単位：億円)

	2018年度 第2四半期累計①	2019年度 第2四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	222	223	+1	+0.6%
廃棄物処理関連事業	179	380	+200	+111.8%
化学・食品機械関連事業	48	54	+6	+13.5%
消去・調整額	0	0	-	-
受注高合計	450	658	+208	+46.3%
受注残高	743	1,026	+282	+38.1%

※長期運転維持管理業務の受託高は含んでおりません。(但し、同業務の単年度売上額を受注高として計上)

2) 受注高+長期運転維持管理業務の受託高

(単位：億円)

	2018年度 第2四半期累計①	2019年度 第2四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
受注・受託高	384	593	+209	+54.4%
受注・受託残高	1,611	2,240	+628	+39.0%

### 3. 連結セグメント情報

#### 1) 売上高

(単位：億円)

	2018年度 第2四半期累計①	2019年度 第2四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	118	129	+10	+8.5%
廃棄物処理関連事業	169	213	+43	+25.6%
化学・食品機械関連事業	51	42	△8	△16.3%
調整額	0	0	△0	△90.5%
合計	339	385	+45	+13.3%

#### 2) 経常利益

(単位：億円)

	2018年度 第2四半期累計①	2019年度 第2四半期累計②	前期比増減	
			②-①	増減率
水処理関連事業	△12.3	△11.9	+0.4	-
廃棄物処理関連事業	2.3	9.5	+7.2	+314.3%
化学・食品機械関連事業	7.9	5.4	△2.4	△31.1%
調整額	△1.0	△1.7	△0.7	-
合計	△3.1	1.3	+4.5	-

### 4. 連結財政状態

(単位：億円)

	2018年度 ①	2019年度 第2四半期②	前期比増減	
			②-①	増減率
総資産	858	667	△190	△22.2%
負債	582	395	△187	△32.2%
純資産	275	272	△3	△1.1%
自己資本比率	31.9%	40.6%	+8.7pt	-
外部負債残高 ※1	108	32	△76	△70.3%
1株当たり 純資産(単位：円銭)	1,699.61	1,680.78	△18.82	△1.1%

※1 外部負債残高は借入金から構成されており、リース債務を含めておりません。

### 5. 2020年3月期の連結業績予想

(単位：億円)

	前回発表予想 ①	今回発表予想 ②	増減額(②-①)	増減率
売上高	1,000	1,000	-	-
営業利益	36.0	36.0	-	-
経常利益	36.0	36.0	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	25.0	30.0	+5.0	+20.0%

2019年5月8日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)の通期業績予想を修正しております。当社において、有効期間中でありました契約に対して、契約相手先事由による解約の申入れがあり、当該契約の解約条項に従い受領した解約金から当該解約に伴う費用を控除した金額を特別利益(契約解約益)に計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みです。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。